【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公開番号】特開2003-160228(P2003-160228A)
【公開日】平成15年6月3日(2003.6.3)
【出願番号】特願2001-359422(P2001-359422)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ６５Ｇ　61/00
　Ｇ０５Ｂ　19/418
　Ｇ０６Ｆ　17/60
【ＦＩ】
　Ｂ６５Ｇ　61/00　　４２６
　Ｂ６５Ｇ　61/00　　３００
　Ｇ０５Ｂ　19/418　　Ｚ
　Ｇ０６Ｆ　17/60　　１０６

【手続補正書】
【提出日】平成16年9月14日(2004.9.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
　在庫許容台数設定手段５は、繁忙期および閑散期の各月における適正な在庫数（適正在庫数）の上限および下限許容値を製品別に設定する。または、適正在庫数の割合（上限および下限許容割合値）で設定する。
　なお、本システムでは、生産サイクル在庫数の１／２に相当する比率（デフォルト値）として、生産サイクル在庫数（後述する）および基準在庫数を使用し、「生産サイクル在庫数÷基準在庫数÷２」の値を、各々上限許容値割合、下限許容値割合に設定する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５５】
　在庫許容台数設定手段５は、生産・出荷計画見直しの判断基準となる適正在庫数の上限・下限許容値を設定する。上限・下限許容値は、製品の台数をそのまま設定するか、図５のように適正在庫数を基準にした割合（％、上限・下限許容割合値）で設定することもできる。例えば、適正在庫数が小さい場合には、台数をそのまま設定するとよい。
　なお、本システムでは、生産サイクル在庫数の１／２に相当する比率（デフォルト値）として、「生産サイクル在庫数÷基準在庫数÷２」の値を、各々上限許容値割合、下限許容値割合に設定する。